

特集記事

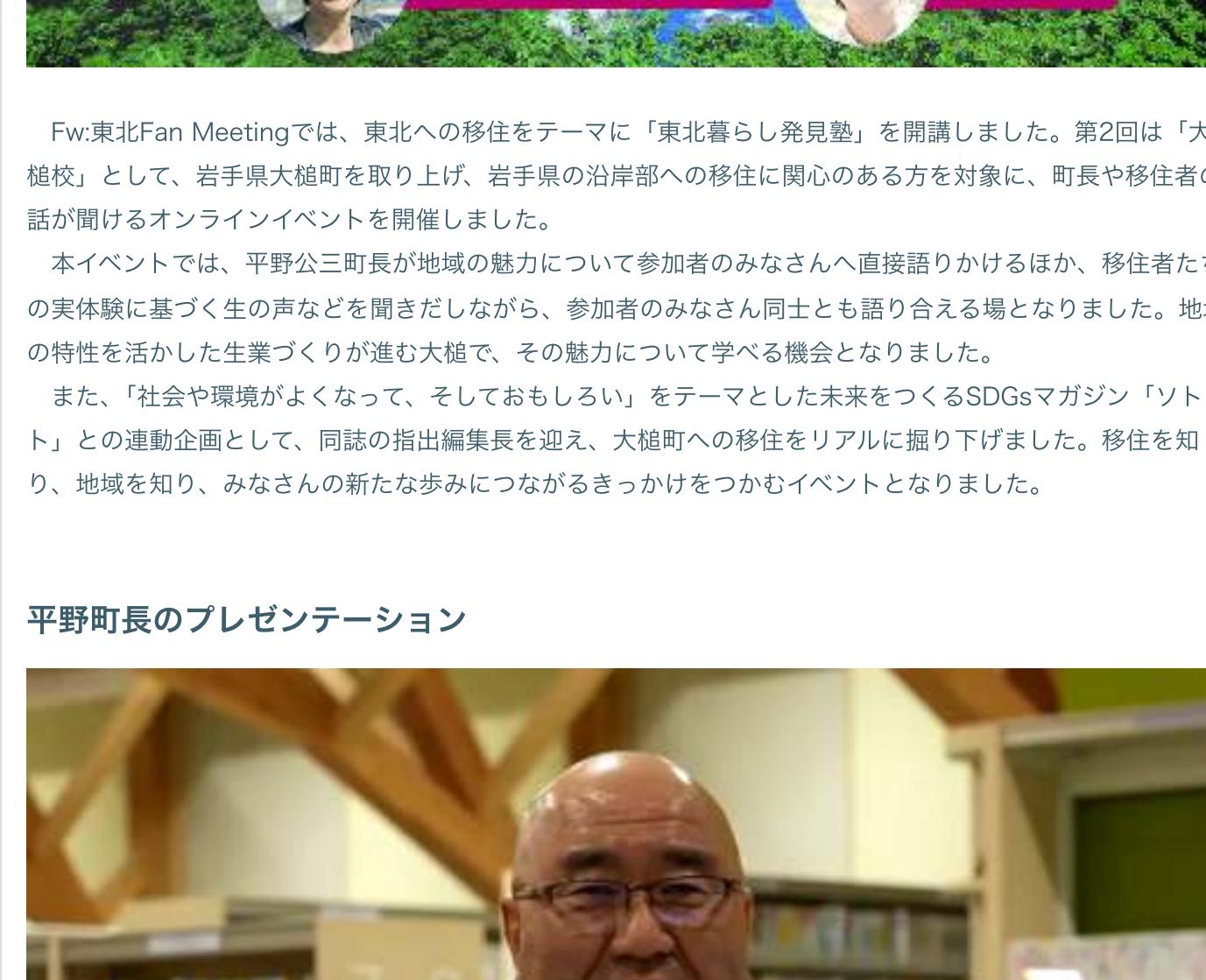
Fw:東北 Fan Meeting 東北暮らし発見塾（大槌校）～大槌の暮らしと生業の魅力を知る～

シェア Twitter

投稿日:2022年5月27日 カテゴリ: Fw:東北FanMeeting

Fw:東北 Fan Meeting 東北暮らし発見塾（大槌校）～大槌の暮らしと生業の魅力を知る～

イベントレポート



Fw:東北Fan Meetingでは、東北への移住をテーマに「東北暮らし発見塾」を開講しました。第2回は「大槌校」として、岩手県大槌町を取り上げ、岩手県の沿岸部への移住に関心のある方を対象に、町長や移住者の話が聞けるオンラインイベントを開催しました。

本イベントでは、平野公三町長が地域の魅力について参加者のみなさんへ直接語りかけるほか、移住者たちの実体験に基づく生の声などを聞きながら、参加者のみなさん同士とも語り合える場となりました。地域の特性を活かした生業づくりが進む大槌で、その魅力について学べる機会となりました。

また、「社会や環境がよくなって、そしておもしろい」をテーマとした未来をつくるSDGsマガジン「ソトコト」との連動企画として、同誌の指出編集長を迎えて、大槌町への移住をリアルに掘り下げました。移住を知り、地域を知り、みなさんの新たな歩みにつながるきっかけをつかむイベントとなりました。

平野町長のプレゼンテーション



冒頭に、平野町長から大槌町に関するプレゼンテーションが行われました。大槌町の特色としては、世界三大漁場である三陸の海を擁していて水産資源が豊富であり、四季が明確、また郷土芸能が盛んに生活に根付いている町だそうです。

移住者トーク

一般社団法人おらが大槌夢広場の南 景元さん、啓美さんご夫妻



韓国出身の南 景元（ナム キョンウォン）さんは留学で日本にやってきました。震災がきっかけで大槌町に移住し、啓美さんと一緒に結婚されました。現在は二人のお子さんがいらっしゃいます。

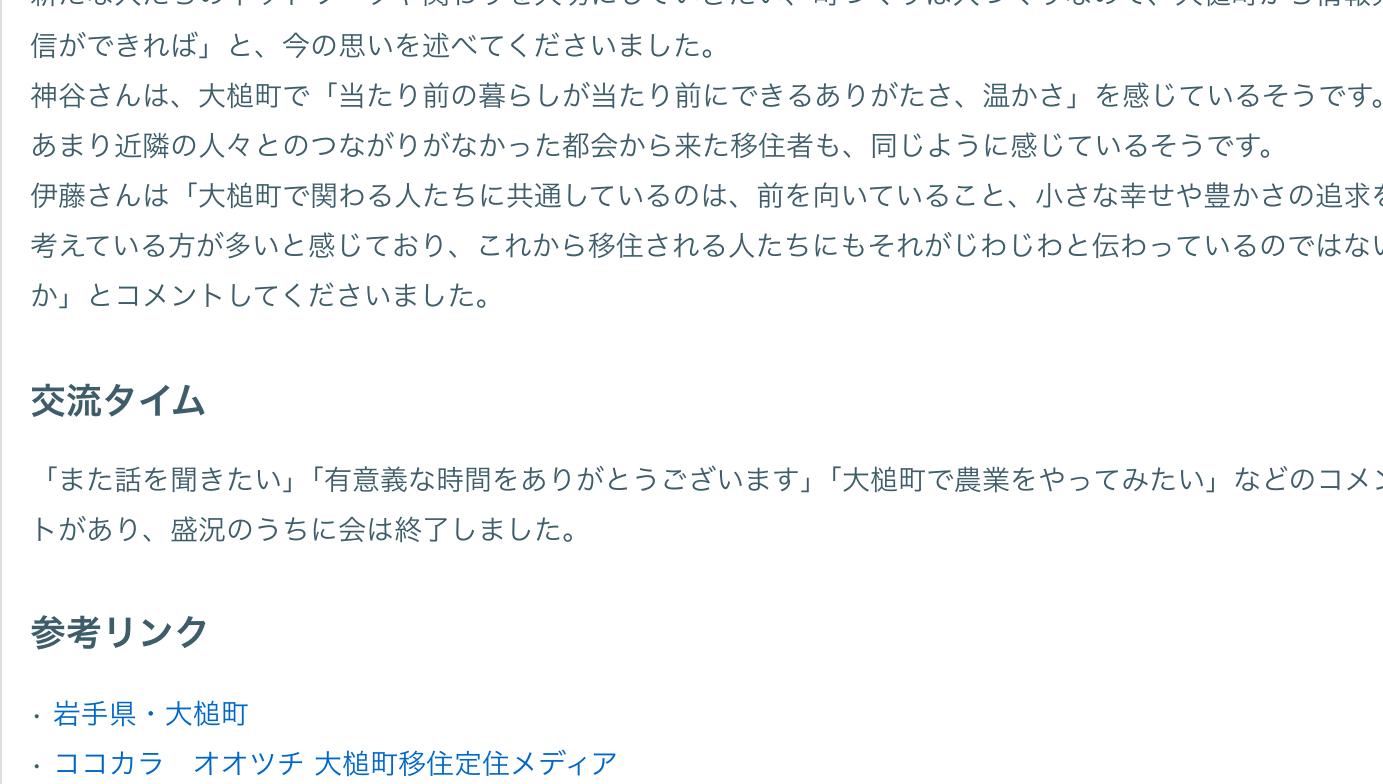
啓美さんは北海道出身で、震災後に岩手県に来られたそうです。景元さんは「大槌に来た時は独身だったが、周りが気にかけてくれた。季節ごとに魚やお米や山菜などをいたたく等、地域で助けられていると感じた」とのことでした。啓美さんは、お子さんが「認定ごども園」に入ってきたママ友ができたし、交流を楽しんでいるそうです。景元さんはスクールソーシャルワーカー、啓美さんは、大槌町の子育て家庭の支援としてフードバンクの仕事をされています。

特定非営利活動法人吉里吉里園 事務局 松永いづみさん



松永さんは東京出身で、震災から一年後に復興支援員として大槌に来ました。教育で大槌を盛り上げるための仕事をしています。今はリモートで仕事ができるので、どこにいてもそれほど変わらない、と感じているそうです。大槌町は、生活面で色々な人たちに関わる地域だとコメントしてくださいました。

雑誌「ソトコト」 指出編集長による移住指南



移住者トークを感じたことを3つ教えてくださいました。

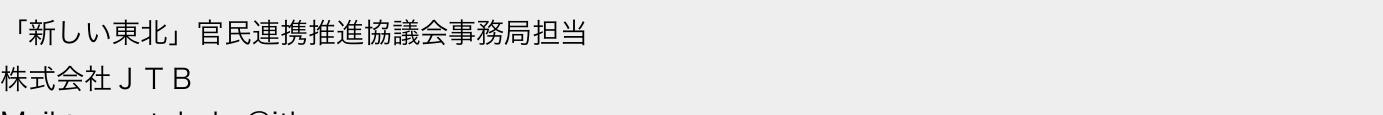
・ソーシャルグッド、社会的な道義や心の優しい感情から大槌町に関わる人が非常に多いと感じている。
・震災直後から大槌町と連続的に関わりを持っている人が多いと感じている。よどまないことは社会において大事なこと。人と人の出会いで地域に積み重ねられている、移住の大きなポイント。大槌町のこれまでの文化とコミュニティを新しい方が合流して培われている。

・子どもの誕生や入学を地域の皆で祝う話など、未来につながる話が多かった。未来をちゃんと語れる地域かどうかは移住する上大事なこと。

移住者x 4名者 のブレイクアウトセッション

移住者の4名がそれぞれの部屋に分かれ、参加者と直接やりとりを行なうブレイクアウトセッションが設けられ、移住者に直接質問や気になることを話す機会となりました。

指出編集長と移住コーディネーターとのクロストーク

「新たな人たちとネットワークや関わることでいいたい。町づくりは人づくりなので、大槌町から情報発信ができるけど、今の思いを述べてくださいました。

神谷さんは「大槌町は人情味があり、居心地がよく、泥沼のように抜けられなくなる」と話してくださいました。

伊藤さんは「大槌町で関わる人たちに共通しているのは、前を向いていること。小さな幸せや豊かさの追求を

伊藤さんは「大槌町で暮らした都會から来た移住者でも同じように感じている」と話してくださいました。

伊藤さんは「これから移住される人たちにもそれがじわじわと伝わっているのではないか」とコメントしてくださいました。

会議概要

日時: 2022年4月11日 (月) 19:30-21:30

形式: Zoomミーティングによるオンライン会議

参加者数: 25名

主催: 復興庁

企画運営: エイチエス株式会社

協議会の会員による
様々な復興支援活動はこち

お問い合わせ

「新しい東北」官民連携推進協議会事務局担当

Mail: new-tohoku@tb.com

Tel: 03-6737-9291

©2015「新しい東北」官民連携推進協議会. All Right Reserved.

カテゴリ

「新しい東北」復興・創生の星顕彰2023

「新しい東北」復興・創生の星顕彰2022

「新しい東北」復興・創生の星顕彰2021

「新しい東北」復興・創生の星顕彰2020

「新しい東北」復興・創生の星顕彰2019

「新しい東北」復興・創生の星顕彰2018

「新しい東北」復興・創生の星顕彰2017

「新しい東北」復興・創生の星顕彰2016

Fw:東北FanMeeting

インタビュー2018

みちのくみつけ

東北の明日を切り拓く

東北の「新たな挑戦」

復興庁

復興支援活動

<div data-bbox="669 2544 812 25